

# くすのき



## ～ 梅雨の訪れとともに地域の安全への配慮を ～

先週、近畿地方でも例年より少し早く梅雨入りが宣言されました。地域では田植えが始まり、校区内の水路にも勢いよく水が流れ込んでいます。

一面に水が張られた光景は美しいものですが、子どもたちにとっては思わぬ危険が潜む場所でもあります。水路の水量が増えるこの時期は、一歩間違えれば大きな事故につながりかねません。また、水路へのいたずらなども心配されます。

学校でも繰り返し安全指導を行います。ご家庭でも「水路の近くには絶対に近づかない」「のぞき込まない」など、お子様へのお声かけをよろしくお願いいたします。

## ～ スクールサポーターの活動が始まりました ～

今年度から募集を始めた『スクールサポーター』ですが、5月末から活動が始まりました。多くの応募をいただき、教育活動へご参加いただきました。たくさんの温かい目に見守られ、子どもたちは安心して伸び伸びと学習に取り組むことができました。

大人の手が少し増えるだけで、子どもたちの学びの質はぐっと高まります。困ったときに「どうしたの?」と声をかけてもらえる安心感は、子どもたちの「やってみよう!」という意欲を引き出す最高のスパイスです。また、教師や家族以外の大人と触れ合うことは、子どもたちの社会性を育む大切な歩となります。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

今後も、学年の活動やクラブ活動、委員会活動において、子どもたちの活動のサポートをしてくださる方を募集します。随時、案内のスクリレを配信しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 【コラム】～「先回り」をしない、信じて見守る～

いつもお子様を温かく見守り、時には忘れ物を学校まで届けてくださるなど、保護者の皆様の深い愛情に心より感謝しています。その愛情を受け止めつつ、学校は「たくさん失敗して、そこから学び合える場所」でありたいと考えています。

本校の目指す学校像の一つに、「おおらかな学校」があります。そこでは、「失敗を学びや成長の機会とし、おそれず挑戦する精神の尊重」を掲げています。

例えば、忘れ物をしないように大人が先回りして準備をすべて整えたり、子どもが困る前に大人が代わりに相談して解決したりすれば、その場の失敗は防げます。一方で、子ども自身がトラブルに向き合い、「どうすれば解決できるか」を自分で考える貴重な経験の機会を逃してしまうことになるかもしれません。

「困ったけれど、勇気を出して相談し、乗り切ることができた」というような小さな失敗とリカバリーの経験こそが、子どもたちをタフに育てます。子どもたちの「自分で解決する力」を信じ、あたたかくおおらかに見守っていききたいものです。

### 目指す学校像

おおらかな学校

### 学校運営方針

- 多面的な児童理解力の向上
- 多様性を尊重する人権感覚の醸成
- 失敗を学びや成長の機会とし、おそれず挑戦する精神の尊重

## 【国際理解学習】文房具寄付へのご協力をありがとうございます!

6月1日のスクリレでのご案内以降、たくさんの文房具が寄せられており、心より感謝します。ご家庭で眠っていた文房具が、海の向こうの子どもたちの学びを支え、笑顔へとつながる素敵な機会となっています。締め切りまでまだ日がありますので、引き続き皆様の温かいご協力をよろしくお願いいたします。

